

2024年度3年「総合的な探究の時間」年間指導計画・評価計画

科目名	総合的な探究の時間	履修学年(単位数)	第3学年(1単位)・必修
教科書	独自の教材テキスト		
副教材	なし		
目標	課題研究を含む全ての教科の探究的な学びを統合し、科学的根拠を踏まえた上で、他者の見解を尊重しつつ価値判断・意思決定を行う力を育成する。		
年間授業計画			
時期	単元	学習内容	時数 目標・内容の具体
4月 ～ 7月	探究ケーススタディ	・生命倫理分野を事例として、問いの設定や問いの構造化を体験的に学習する。	6 ・フォアキャスト、バックキャストの視点を身に付ける。 ・探究活動の見通しをもつ。
	探究期	・個人もしくは班で、「科学に問うことはできるが、現代の科学では答えることのできない課題」を自ら設定し、課題の構造やボトルネックを明らかにし、課題解決に向かう技術、制度等について探究する。	11 ・正解のない課題を問い、吟味する力を身に付ける。 ・正解のない課題の探究に取り組むことで、これまでに身に付けた科学的探究の知識、技能を自覚的に活用する。 ・科学的根拠を踏まえて、価値判断、意思決定を行う力を育む。
8月 ～ 3月	知見の集約期	・探究の成果を持ちよって、班で論点マップを作成する。 ・論点マップを作成することを通じて、諸研究の関連性や探究の空白地帯を見出す。	11 ・複数の探究成果について相互の関連性に気づき、知を統合する。 ・探究成果の関連性を図解することを通じて、より高次の問いやより具体的な問いに気づき、自らの探究成果の位置づけを理解する。 ・自己及び他者の探究を尊重しつつ批判的思考ができる。
	成果発表・振り返り期	・探究の成果を発表する。 ・ピアレビューや参観者のフィードバックを踏まえ、次の探究課題を見出す。	5 ・成果を発信する。 ・探究過程を振り返り、正解のない課題を問うプロセスや、自らの科学観への理解を深める。
評価 規準	知識・技能	・現代社会の課題が科学や技術と不可分の関係にあることに気づき、科学や技術の発展による課題解決の重要性と、科学や技術の発展に伴い新たな課題が生じる可能性を理解している。 ・各教科で習得した知識・技能を有機的に結びつけ、探究の過程で活用することができる。 ・目的に応じて適切な手段で情報を収集している。	
	思考・判断・表現	・収集した情報を多面的多角的に分析している。 ・科学的根拠に基づいて考察し、自らの分析と主張が明確に伝わるように、論理的に表現できる。	
	主体的に学習に取り組む態度	・自律的な学習者として、探究の計画を立て、課題を設定し、探究活動に取り組むことができる。 ・自他の良さを認め、多様な意見を受け入れながら、未来を共創しようとしている。	
評価 方法	発表や成果物のパフォーマンス評価、生徒の振り返りにより実施		
備考	学習指導要領との関係性：「実社会や実生活における複雑な文脈の中に存在する事象を対象として」、「複数の教科・科目等における見方・考え方を総合的・統合的に働かせて探究」し、「解決の道筋がすぐには明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題に対して、最適解や納得解を見いだすことを重視」するという学習指導要領解説の記述を踏まえて目標を設定した。		